



平成16年号 春号

発行 ゆう動物病院

〒601-8432 京都市南区西九条東島町58-103

TEL. (075)681-5300 / FAX. (075) 681-5300

URL: <http://www11.plala.or.jp/>

早いもので開業してもう一年になろうとしています。やはり初めての開業に不安もありましたが、多くの人のご好意にも支えられて何とか春を迎えられる事ができました。

今後も皆様のお役に立てる様に頑張ります。この新聞はそんな病院の姿勢と軌跡が見える様なものに育てたいと願っています。ご一読下されば幸いです。

院長 森本真一郎

## 二〇〇三年を振り返って



当たり前の話ですが、大学で六年勉強し、症例の多い病院で五年勤務したと言ってもまだまだ勉強不足でお恥ずかしい話ですが「よく分からない」症例・経過に時には出会います。そんな時は十分に診察し考え調べた上で包み隠さずその旨を伝えていくのですが、やはり頼って来院して頂いているのに……と忸怩たる思

の一言で待つて貰うのですが、ここまで大きくなったお腹での釘飲みは初体験です。母体を優先するなら取った方が良いのじゃないか? いや出るのでは?? 思わず出身病院の院長に電話で聞いて「大丈夫じゃない?」って言われましたが「絶対」とはもちろん言ってくれません……。放置して貫通でもして腹膜炎になり母子ともに死んでしまったら??

た所いつの間にか釘は出ていました……結果的にはもし僕が手術していたら子供の命が危なかったかも知れません。おまけにこの子は初産のパグなのに六匹妊娠! 多産のせいか釘のせいか通常なら流産と判断される位の早産(五十七日以前)でしたが無事生まれた四匹は人工保育無しで育ちました。このどちらも初体験の事でした。

そして病気に限らず「初めて経験した」という事もどうしてもでてきます。例えばこんな事もありました。妊娠してお腹パンパンのパグさんが食欲不振で来院しました。お腹も痛そうですし消化器症状もありレントゲンを撮りますと大きな釘を飲んでます……。実は普通の釘って先が意外と丸いので針や竹串よりも安全なんですよね。普段なら「出るんじゃないかな?」

僕は手術も視野に入れる考えを示しましたが、同時に他の先生にも聞いて欲しいとお願いました。情けない話ですが子供に危険を負わせて手術するべきか悩んでいました。

主様から緊急電話が有った時に僕も嫁の出産があつて産院に居り、怒られるのを覚悟で他の病院をあたつて欲しいとお伝えしたところ、開口一番「あら、先生おめでとうございます!」とお

祝いを言つて貰つて「自分が逆の立場ならこんなに素直にお祝いできるのかなあ……」とその点でも非常に勉強させて頂きました。

飼い主様は熱心な方で三人に聞かれたそうで「大丈夫だろう、出産の時に残っていたら危険だろうからその場合は帝王切開しよう」

つて結論になりました。結果、出産時にレントゲンし



## 診察について①

(続きは次号です)

「説明」においては「病気の説明」「検査の説明」「薬の説明」を丁寧にしたいと考えています。昔、獣医の本にアンクルマイキー(誰か?)の名言なるものが載っていました。「ひづめの音が聞こえたからと言って馬と思うな、シマウマかも(思い込まない様に戒め)。」など非常に参考になるし、今も金言としている言葉が沢山載っているのですが、その中に「飼い主は三つしか覚えなない」と言う名言(?)があります。ヒドイ物の言い方だなあと思ったのですが、確かに沢山の可能性を含めて話をしていると話が上手く伝えられない事・ややこしくて分からない事が多々あります。特に家族



の方に伝える際更に混乱を招く場合がやはり多くなります。僕はそれらを防ぐ為に必要な場合はなるべく紙に書いて説明をしたいと思っています。家に帰ってそれを読んで再確認していただき、家族の方に診察内容を伝えて頂き、更にはセカンドオピニオンや転院で他の先生にかかる時でも自分の診療を伝えられる様に、紙に書く事は手間と責任は大きいですがその様な観

点からも頑張つて続けますのでどうか読んでご利用下さい。

「あの病院行つたけど、何の病気で何の検査をして何をしたのか、何の薬貰ったか分からないのよ」……多い話ですね、当院での診察後にそう思われない様に努力します!

では「選択」とは何の事でしょう。例えばガンが怪しいとします、問答無用で検査を全てしてガンと体の状態を正確に判断し、その情報に基づき必要なら入院させてベストの状態で手術し、有望とされるなら考える全ての抗がん治療を積極的にする……これは獣医学的に一番の道ならば必ずそうするべきなのでしょう。僕は今でもこの命題に悩みますし、結果的に悔いが残る事も残念ながらあります(手術結果の項で後述)。

僕を考える理想は、人間の医療でも同じと思うのですが、診断とそれに伴う情報を提示して、その中で獣医師として自分がベストだと思ふ事を伝えつつも人それぞれの考えや事情に有つた様々な対応法とその予後を提案し「選択」して頂く事ではないかと思つています。もちろんその為には獣医師も余計に話したり考えたり調べる事も必要になりますし、飼い主様が自分で判断する悩みを持つ場合もあると思います。でも考える事こそがペットへの愛情である様な気が僕にはします。



家族・周囲の方々と相談して出た結論こそがその方とその子にとつての一番のベストだと僕は信じ、サポートをします。

獣医としてベストを尽くす事だけに徹すればある意味楽な場合が多いのですが……。

だから「なんでも良いから先生が決めてくれ」つてタイプの方には「病気やね、一週間後に治つているから迎えにおいで、5万用意してね」つて親方タイプの先生が楽かも知れませんが逆にその場合の良さも十分に分かります。

ですが僕はなるべく数多くの選択をして貰える様に、それぞれのレベルを上げられる様に、もっと勉強し、相談のできる獣医で在りたいと思つています。



# ワクチン アレルギーについて



去年は当院でワクチンによるアナフィラキシーショックを体験しました。

これは後述の様に急性の強いアレルギーです。正直、

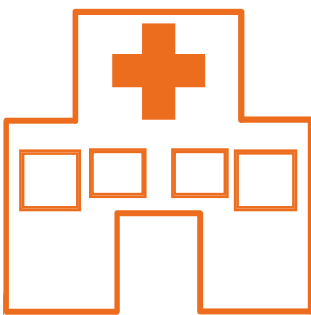
今までワクチンアレルギーの多いダックスフンド中心に顔の腫れやジンマシン等の普通のアレルギーは体験してきたのですが、統計的には5万分の1とも言われるので体験するほうが珍しいのですが、初めてでした……。

結果的にその晩にその子は亡くなってしまいました。

当院では十分に調べ他の病院よりもワクチンアレルギーに対しての注意喚起と用意をしてきた自負がありましたが、どこかに減多に無いこのアナフィラキシーショックに対する「気の緩

み」が有ったのかも知れません。これを機にワクチンアレルギーに対する説明書と説明を更に厳重にする事になりました。

ワクチンは怖いという印象は持つて欲しくは無いのですが、注意は必要です。もちろんアレルギーよりも病気そのものに感染する可能性の方が高いから接種するので、よく獣医師と相談・説明の上で接種して下さい。



## 直後～1時間程度の間には注意する事

ごくまれに **アナフィラキシー（ショック）** という強い急性のアレルギー反応が起こり始める事がありますのでこの時間帯は特に様子を見てあげて下さい。

☆これは **放置すると死に至る事が多い** 為、呼吸数の増加・虚脱・ヨダレ・嘔吐等が有りましたら、すぐに病院にご連絡・ご来院下さい。診察時間外は留守電を入れて下さい。

**(075-681-5300)**

もし10分以内に当院から折り返し連絡が無い場合は至急他院に連絡して下さい。



## 数時間内の間に特に注意する事

まれにアレルギーにより顔の腫れ・体のかゆみや発赤が起きる事があります。

時々様子を見てあげて下さい。 **注意：まれに強いショックも起こり得ます！**

☆ ジンマシン・顔の腫れ・かゆみ等あればすぐに病院にご連絡下さい。

**特にアレルギーはダックスフンドに集中しています（半数以上）。**

一般的に予防はできるだけ多くしたいので8種をお勧めしていますが、アウトドアしない場合や多頭飼いでなければ5種でも良いと思います。御相談下さい。

# 「もっと欲しい!」

## と思う事ベスト3



### ① フイラリア予防

ワンちゃんの予防の中で発生率・予防薬の安全性と値段・発症した時の重症度を考えると最重要なのが「フイラリア」予防です。少し詳しい飼い主さんなら予防はしておられますが、案外知らない場合もあるので簡単に説明しますと、フイラリアと言うのは寄生虫の事です。ヒモミたいな虫なのですが、悪い事に心臓に集中して集まります。結果として心臓に寄生した虫は退治し難く症状は心臓病なので辛いものになります。発症率は地域の方々の意識に掛かっているので、余り予防してない地域だと戸外で飼っている数年でほぼ100%かかります。都会でも一番かかる寄生虫の疾患の一つと言えるでしょう。

実際にワンちゃんの長寿の実現に一番と言える位に大きく関わっている予防だと思えます。

この虫は蚊が運んで来る為に蚊のシーズンに合わせ(この辺りで五〜十一月位)月に一回の薬を飲むだけで簡単に予防できます。薬代もそれほどかからないので(大型犬は高めになります)予防してない方は是非予防してあげて下さい。猫さんとフェレットも寄生率は少ないですが、かかると体が小さい分重篤な症状になりますので予防してあげるのは良い事だと思います。

### ② 猫のワクチン

猫さんのワクチンはかなり接種率が少ないのが現状です。ですが、特に外に出てアウトドアを楽しんでいる猫さんの感染症はむしろ人間の行動領域で制限されて飼われているワンちゃんよりかかる機会が多いのが実際です。外飼いは必須です!家で飼っている場合はどうなのでしょう?一見安全そうですが、ワクチン無しは非常に怖い事です。まず一つには猫さんは不意に逃げてしまう可能性があるので。第二に調子を崩して病院などに来院の際に病気の猫から感染する可能性もある事、そして猫好きのあ

なたが外で鼻ズルズルの可愛そうな風邪猫にゴハンをあげてなでたその手からも移る病気が沢山あるのです!ましてやそんな猫さんが家を気に入って新しい家族になった場合には要注意です。前の病院でも大切に箱入りで飼われている猫の集団ほど一旦伝染病が入った時に全滅等の悲惨な状態になる事を多々見てきました。どうか少なくとも一生に二回はワクチンを受けさせてあげて下さい!

### ③ ダニ予防

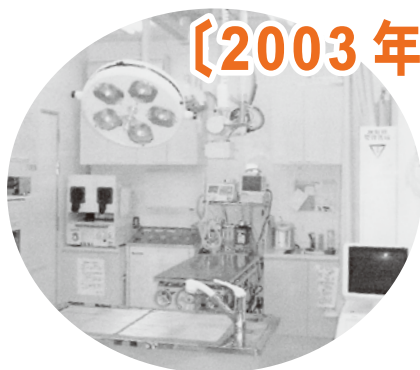
二の怖さではありません!ダニが48時間程度寄生すると、ダニからバベシアと呼ばれる赤血球に寄生する小さな寄生虫が入る事があるので(他の病気も沢山あります)。これが非常に重篤な貧血を起こし、その上バベシアの種類によっては製造中止の特別な薬で無いと直らない事が有るのです。これは手に入るとは限りません……。輸血もそうできるとは限りません。これを予防する為に一番有効なのはダニ取り首輪です。四ヶ月効いて一、六〇〇円の安価で効果の高いものが有りますので、特にアウトドアの前はお勧めします。

ダニが散歩中に付く地域は限られていると思います。だからつい忘れがちな事です。普段居なくてもダニが発生する事は有ります。特にアウトドアで出かけた山や川は要注意です!帰ってきたらダニが体中ピツシリ……ゾゾォー!!っとなりますね。でもそれがダ

#### フロントライン・アドバンテージが進化しました!

ほぼ100%を誇る(市販品では無理)成虫駆除の効果が加えて、卵と幼虫も駆除できるようになりましたよ。





〔2003年3～12月〕

# 手術記録

## 手術回数

四十二回

なにぶん開業年度で、更に十カ月ですので少ないですね……。

## 多い手術

- ①猫の避妊
- ②腫瘍摘出
- ③犬の避妊

腫瘍の問題は大変多いことが分かります。常日頃から「できもの」に気を付けて早めの対処が必要です。腫瘍の半数は乳腺腫瘍です！五〜七歳の女の子は特に要注意です。特に猫さんの乳腺腫瘍は悪性が九割です。早めの摘出が大切ですので、1 cm位の小さいものでも積極的に相談下さい。



## こんな手術もしました

### ■会陰ヘルニア

男の子に問題となる脱腸です。

### ■子宮水腫(猫)

蓄膿しないので分かり難いです。

### ■会陰部尿道口口

男の子の性転換です。おしっこ詰まりの行き着く先……は最悪手術です。そうならない様に日頃の食事と様子見を！

### ■膀胱結石

尿酸アンモニウムで、先天性肝疾患からの珍しいタイプでした。

レントゲンに写らない結石なので分かり難いタイプの石です。

### ■横隔膜ヘルニア

交通事故の子猫を心優しいおじさんが救ってくれま

した。

二〇〇四年に入り他にも色々としています。

前に勤務していた病院は大きく、五年で約一〇〇〇例の手術を経験できました。

相応の手術はできるのですが、逆に大きな病院での手術を体験した上で思う事は明らかに人手・設備・経験・輸血体制が必要、あるいは用意している方がベストな手術があると言う事です。よってその様な場合は積極的に大きな病院等を紹介する事も有ります。

## 最高年齢

十五歳(前の病院も含めると十八歳)

年だからといって手術できない事は有りませんし、それでは可哀想な事です。しかし若い子と同じには考えてはいけません。術前検査をしっかりとする事が大切です。

約半数で老齢・心疾患・肥満等のリスクを抱えてい

ました。高齢になって手術をする事はこの様な事が多いので、常日頃から健康に留意し肥満に注意しておき、問題があれば早めに対応する事が大切です。

「手術は全員成功」とご報告したかったのですが、一頭の猫さんだけ術後翌日に亡くなりました。口のイボ様の部から原因不明の出血(病理でも原因不明、自己免疫性の粘膜障害?との事)で貧血し、危険な状態だった為に輸血の上で緊急に手術をしたのですが、力及ばず亡くなりました。

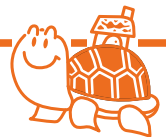
重大な結果の上、緊急事態に焦る僕の飼い主様への術前の危険度の説明不足も加わり「危険な手術なら自然に任せたかった」と非常に叱りを受けました。

以後、手術に対する研鑽はもちろん、更に診療説明の充実に力を入れ、治療は飼い主様の「想い」と共に行う事を忘れてはならないと反省しました。



## 連載物

# 自己紹介の話 ①



はつきりと「獣医になるんだ」と自覚を持ったのは

小学校五年の事です、た

くさん動物を飼いだめたのは小学校に入ってからです。

昔の写真をみると三歳位でヒヨコを飼っているのです。

いぶ年季は入っているのです。

ですが、異常に飼い出したのは小学校入ってからです。

非常に犬が欲しかったのですが、どうしてもうちの

親は飼ってくれませんでした……。

「犬以外なら良いのか？」と聞くと「良い」との返事、

ハッキリ言ってそこからは半分親に対する嫌がらせの

様に(笑)様々なペットを飼っていききました。(実は

その頃、猫は「死んだら化ける」とか言うし目が細い

のが怖かったので対象外で

した。)

様々な昆虫・熱帯魚などの魚・カエルや亀やトカゲ

やザリガニ系・野鳥も含めた鳥……とにかくペットシ

ョップで飼えるのは購入資金が限られているので、近

所の動物はいい迷惑な位に色んな生き物を拉致監禁し

ていました……。部屋はカ

ゴと水槽だらけな上にカーテンなども虫がいっぱい付

いているし、机の引き出しにまで土を詰めて昆虫飼っ

ているし、庭やベランダは水槽だらけでした。今思っ

ても親は何で犬を飼って良い方向に切り替えなかったのやら……(苦笑)。時に

二〇〇匹は余裕で超えて飼っていました。

ともかく親に感謝しないといけないのは蛇以外(捕まえた次の日に母親が内緒

で捨てました)全部好きな

様に飼わせてくれた事です。息子が同じ事したらどうしましよう(笑)。

これだけ飼っているとし

よっちゃう動物の死に出会

います。毎回お墓を庭に作

って埋めてお葬式するので

すが、さすがに気が滅入る

日々でした。独学で色んな本を読んで飼う方を研究してはいましたが、余り役には立ちませんでした。

そんな時に獣医という職業の存在を知りました。

「動物が死ななくなる職業!」なりたいたい!!

誰よりも動物の病気と向き合って、人様の想いも含めてその死を受け止めないといけない大変な職業なんて事に少年では気づく余地は有りませんでした。

【続く】

## 募集します!

次号からペット関係(ショップやトリミング)の広告やお知らせ等の記事など、なんでも良いので載せて欲しい事があればご一報下さい。

スペースの関係も有りますのですぐに載せられない事も有ると思いますが、ご利用下さい。

## ホームページがあります!

余り更新しないのですが、時々更新もしてるので見て下さいね。なお、メールによる相談や掲示板等はありません。色々とトラブルの元になる事も多いので……。

アドレスは

<http://www11.plala.or.jp/YUU/> です!

## 病院豆知識

ご存知ですか?

病院横の駐車場よりも大きいのが前の道路を数m南に下がった所に有りますよ!



もちろん病気の診断と治療も大事ですが、普段から利用して頂きたいのは予防と飼い方の相談です。予防というのはワクチンやフィラリアはもちろんですが、肥満の管理など飼い方についても、大きな事を未然に防ぐ観点から非常に重要な事になってきます。

ワクチン手帳にも大事な情報が書いていますので読んで下さいね。

ちなみにワクチンの際に爪きり・耳掃除・臭腺絞りが必要ならサービスでしてありますよ！

そして病院にたびたび来て頂くと無料でご利用できるこんな得する事があります。



## スタッフ紹介

### ◇ 八木よし子

**飼っているペット：**柴犬・セキセイインコ

**メッセージ：**働き始めてゆう動物病院と同じ1年になりました。今年新しいスタッフが2名増えるので早く成長して貰える様、色々経験して貰える様にしていこうと思っています。まだまだ未熟ですが、院長に聞きづらい事など気軽に声をかけて下さい。

### ◇ 小山 望

**飼っているペット：**ビーグル犬

**メッセージ：**動物が大好きでこの業界に入りました。飼い主さんと大切な家族の一員である動物たちが健康で楽しく過ごせる様にお手伝いをしていきたいと思っています。まだまだ未熟者ですが、一人前の看護師になれる様に頑張ります！

### ◇ 室川真優子

**飼っているペット：**マルチーズ（ナナちゃん、今年9歳です）

**メッセージ：**今年からスタッフの一員になります。新人なのでまだまだ頼りないですが、飼い主さんのお役に立てるよう、一生懸命頑張りたいと思います。スタッフ同士もすごく仲良しで病院はいつも明るいです。皆さんも気軽に声をかけて下さいね。

### ◇ 森本 優子

**飼っているペット：**亀のプピ、猫のちびすけ、長男雄太郎（？）

**メッセージ：**以前は受付として皆さんに接することができましたが、現在は育児の為、事務をしています。かげながら獣医師・スタッフのサポートをし、よりよい病院にしていきたいと思っています。皆さん気軽に利用して下さいね。



院内プリントとサンプルの配布・本の貸出し・体重測定・口輪やカラー手袋貸出し……etc

散歩のときや季節の変わり目、色んな時に病院を利用して下さいね。



どんなご飯が合うの？  
しつけはどうしよう？  
ノミ・ダニの予防をしたいんだけど……。  
何でも気軽に聞いて下さいね！





## ■病院に対するご要望・意見を待っています■

日頃からスタッフ一同、良い病院にする為に頑張っていますが、僕たちでは気がつかない事や至らない事もあると思います。そういう点を教えて頂ければ、勉強になります。

「365日・24時間診察してくれ」と言われても急には無理ですが、その様なご要望が飼い主様の必要としている病院像をつかむ事にもなりますので、どうか教えて下さい。



〒601-8432

京都市南区西九条東島町 58-103

ゆう動物病院